

心の力

「心の力」って…

どんな力…??

私達が一番大切に育ててあげたい力です！！



「過保護・過干渉」は子供の敵！！

子供は、本来「真面目な心・優しい心・忍耐力」を持っています。

ただ、子育て次第でこうした子供が本来持っている「正しい心」が歪められ間違った方向へ行ってしまうのです。

その最大の原因が「過保護・過干渉」です…

「子供が出来ること！！」って…

大人の我々が考える以上にたくさんあるんですよ(*^^*)

時間がかかるから… 手間がかかるから… 失敗するから…

大人が何でも手を貸してあげていませんか？！

子供が出来ることを大人が手伝う… 代わりにやってしまうことが「過保護・過干渉」です。



「出来ること！！」って、面白いんですよ！！

大人の我々もそうですが「出来ること！！」って面白いですよ（笑）

「過保護・過干渉」とは、子供に「出来る楽しさ」を経験させない… 大人が子供の代わりに出来る楽しさを味わっているのと同じなんですよ（涙）

「やりたい☆」と思う時期は、幼児期のほんの一瞬です。

その時期に「危ない！手間がかかる！まだ早い！」と言って、子供の好奇心を奪わないことが大切です。



「溺愛」で育てられた子は…

子供には「大人が守ってやらずにはいられない要素」がたくさんあります。

何と言っても『我が子は可愛い☆彡』ですよ（#^^#）

『可愛い我が子に何一つ辛い思いをさせたくない！！』と思うのが「親心」ですね… ひたすら可愛がり、優しくしていれば良いのならどんなに「楽（らく）」でしょう… でも「楽（らく）」の後に待っているのは「苦（く）」なんです！！

「泣いたり、愚図ったりされてはたまらない…」

「だから、子供の言う通りにしてなだめておこう…」

何でも子供の要求を叶えてしまうことは、大人が「楽（らく）」な方へ流されているだけなんです（涙） 「溺愛」で育てられた子は、義務よりも権利を主張し、責任を果たさず、与えることよりも受け取ることを当然と思うようになります。

つまり… `自立出来ない甘ったれ、に育ってしまうということです！！

「我慢」をしなければならない時にちゃんと我慢が出来る！！

現代っ子に最も欠けているのが「忍耐力」です(>_<)

`他の子と違うと可哀想…、

`あんなに欲しがっているのに可哀想…、

`嫌がっているのに可哀想…、



本当に可哀想なのは `我慢する心、を持たない子供です！！

『心の力』とは `我慢する心、… すなわち『忍耐力』なのです…

与えること = 「愛」ではありません。

与えないこと = 「愛」の場合の方が多いいことを忘れないで下さい。



必要な時に必要な「我慢」が出来るということは、人間にとって不可欠な生きる力の基礎です。

お子さんが生きて行くために、自分のしたいことを抑制して `ルールに合わせなければならない場面、も `嫌なことでもやらなければならない場面、も無数にあることをわすれてはいけませんね…

「我慢」が「意欲」を…

私達は「意欲」という言葉と「我慢」は無縁なものと思いがちですが、人間の「意欲の源」は「何か欲しい…」とか「何かをしたい…」という `欲求、にあります。

幼児期の子供に備わっている `欲求、は、満たせば満たすほど伸びて行くもの

ではありません。「何かが欲しい… 何かをしたい…」と思っても、それが何の努力も無しに満たされては、それは何の輝きも持たない「たったそれだけ」のものになってしまいます（涙）

簡単に子供の欲求を満たしてしまうことは、子供から「達成」の喜びを奪い、努力の楽しさ、面白さを知らない「無気力人間」を育てることです。

「我慢」は子供の「心」を鍛え、てくれます！！

「努力する喜び」を与えてくれます(^_-)-☆

「我慢」のひとつひとつが、子供の「意欲」を引き出し「生きる力」の土台を作っていくのです。



「子供は元気が一番！！」 ～白ゆり幼稚園保育のテーマ～

「元気な子供」は「心が豊かな子供」です(*^^*)

「豊かな心」の源は『自信・意欲・思いやりの心』です！！

我が子を「元気な子供」…「心が豊かな子供」に育てたいですね(^_-)-☆

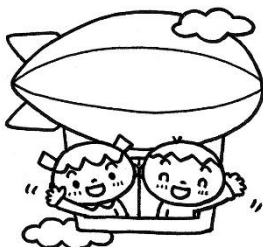
「我慢」が出来ます！！

自分で出来ることは自分でします！！

お手伝いが大好きです！！

お友達がたくさんいます！！

ごあいさつが上手です！！



白ゆりっ子は…

「心が豊かな子供達」です！！